

Ⅲ. 調査票

市政に関する意識調査

《調査ご協力をお願い》

福岡市では、市民の皆さまに市政についての意見や要望をおたずねし、市政推進上の基礎資料とするため、昭和51年から「市政に関する意識調査」を実施しています。

48回目の今回は、毎年おたずねしている「福岡市の住みやすさ」のほか、「防災への意識」「男女共同参画社会」について調査いたします。

調査対象者は、福岡市内にお住まいの18歳以上の市民4,500人の方を住民基本台帳から無作為に抽出しております。

お忙しいところ恐れ入りますが、郵送またはインターネットのどちらかをお選びいただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

※詳細は裏面をご確認ください。

令和5年 6月
福岡市

7月12日(水) までにポストに投函または送信してください。

【記入上の注意】

1. このアンケート調査票は必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、介助されている方や、ご家族の方がご本人に聞き取りの上、代筆されてもかまいません。
2. 回答の記入は、黒・青のボールペンまたは鉛筆などをお願いいたします。
3. 各質問の回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問文に「1つだけ」「すべて」などの指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。答えづらい質問には無理に回答する必要はありません。
4. 質問によっては回答する方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 「その他」を選ばれたときは、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
6. アンケート調査票・返信用封筒には、住所、氏名を記入する必要はありません。

【お問い合わせ先】

- <調査主体> 福岡市市長室広聴課
電話 092-711-4067 Fax 092-733-5580
- <調査実施> 株式会社サーベイリサーチセンター
電話 092-411-8811 Fax 092-411-8851

【回答方法について】

以下の、どちらかを選びご回答ください。

1. 郵送での回答

調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒でポストに投函してください。
切手は不要です

2. インターネットでの回答

二次元コードまたは URL よりアンケートを回答してください。回答の最後に、調査票1ページ右上の整理番号を入力してください。（整理番号は紙とインターネット回答の重複がないかを確認するためのものであり、個人を特定するものではありません。）



<https://questant.jp/q/MXCORDJDfukuokacity>

【回答内容および調査結果の公表について】

- 回答の内容は「このようなご意見の方は全体の何パーセント」など、すべて統計的に処理しますので、皆さまのご意見を個人が特定されるような形で公表することはありません。
- この調査の結果は、とりまとめ後に、パンフレットなどで市民の皆さまにお知らせする予定です。

【アンケート調査票】

[N=1,730]

◀ 福岡市の住みやすさについておたずねします ▶

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|---|------------|------|---------|
| 1 | 好き | 78.7 | |
| 2 | どちらかといえば好き | 20.3 | |
| 3 | どちらかといえば嫌い | 0.6 | |
| 4 | 嫌い | 0.1 | |
| | | | 無回答 0.3 |

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|---|---------------|------|---------|
| 1 | 住みやすい | 74.3 | |
| 2 | どちらかといえば住みやすい | 23.9 | |
| 3 | どちらかといえば住みにくい | 0.8 | |
| 4 | 住みにくい | 0.2 | |
| 5 | わからない | 0.5 | |
| | | | 無回答 0.3 |

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|---|----------------|------|---------|
| 1 | 住み続けたい | 72.8 | |
| 2 | どちらかといえば住み続けたい | 22.6 | |
| 3 | どちらかといえば移りたい | 1.6 | |
| 4 | 移りたい | 0.6 | |
| 5 | わからない | 2.0 | |
| | | | 無回答 0.3 |

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|---|----------------|------|---------|
| 1 | そう思う | 31.3 | |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 46.6 | |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | 8.3 | |
| 4 | そう思わない | 3.9 | |
| 5 | わからない | 9.4 | |
| | | | 無回答 0.6 |

問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つつ**選んでください。

	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答
(例) (1) ○○○○○	1	②	3	4	5	
(1) 自然環境の豊かさ	32.4	52.4	8.3	1.9	2.8	2.1
(2) 住宅事情	24.4	51.3	14.6	4.8	3.1	1.8
(3) 交通の便	37.7	39.7	14.6	6.2	0.5	1.4
(4) 買い物の便利さ	45.8	42.4	7.3	2.8	0.5	1.2
(5) 物価の安さ	12.5	46.0	25.5	8.2	6.1	1.7
(6) 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	47.2	43.1	5.4	1.2	1.8	1.3
(7) 芸術・文化水準	16.5	49.4	13.4	3.3	15.8	1.7
(8) 教育環境	12.7	47.7	13.1	4.0	20.8	1.7
(9) 子育てのしやすさ	12.3	39.9	12.0	4.4	28.6	2.8
(10) 就業機会の多さ	9.8	39.9	17.2	5.2	25.3	2.5
(11) 医療機関の充実	27.1	54.5	10.1	1.8	5.4	1.2
(12) 福祉の充実	10.2	40.6	16.2	4.8	26.2	2.0
(13) 人の親切や人情味	20.5	56.8	9.5	3.0	8.7	1.4
(14) 地域住民の連帯感の強さ	9.3	41.9	17.9	4.8	24.3	1.7
(15) 自然災害の少なさ	25.1	54.9	8.9	2.5	7.5	1.1
(16) 犯罪の少なさ	6.3	33.7	29.8	13.4	15.1	1.7
(17) 市民のマナー	6.0	43.5	29.7	10.4	9.0	1.4
(18) レジャー・レクリエーション施設の充実	9.8	46.6	20.6	6.9	14.7	1.4

《 防災への意識についておたずねします 》

福岡市では、災害から自分自身や家族の命を守るため、市民一人ひとりが防災意識を高め、災害への備えができるよう、さまざまな取り組みをしています。近年の全国的な大規模災害を踏まえ、本市においてもいっそう災害への備えを進める必要があります。

問6 あなたは、現在住んでいる地域が、災害に対して安全だと思っていますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | | |
|---------------------|------|---------|
| 1 安全だと思う | 21.8 | |
| 2 どちらかといえば安全だと思う | 62.5 | |
| 3 どちらかといえば安全ではないと思う | 12.5 | |
| 4 安全ではないと思う | 2.3 | 無回答 0.9 |

問7 あなたが日頃、特に不安に思っている災害は何ですか。あてはまるものを**すべて**選んでください。

- | | | |
|---------------------------------|------|---------|
| 1 火災 | 46.0 | |
| 2 地震 | 82.1 | |
| 3 津波、高潮 | 13.2 | |
| 4 台風 | 59.8 | |
| 5 水害（洪水、浸水） | 35.0 | |
| 6 土砂災害（がけくずれ、土石流、地すべり） | 13.2 | |
| 7 落雷 | 19.8 | |
| 8 強風、竜巻 | 26.9 | |
| 9 猛暑 | 46.5 | |
| 10 濁水 | 33.6 | |
| 11 感染症（新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザなど） | 47.4 | |
| 12 鉄道、航空機、高速道路などでの重大事故 | 15.2 | |
| 13 原発事故（放射能漏れ） | 13.6 | |
| 14 テロ | 14.0 | |
| 15 武力攻撃（着上陸侵攻、弾道ミサイル攻撃など） | 22.1 | |
| 16 その他 | 1.6 | |
| 17 特になし | 1.6 | 無回答 0.5 |

問8 福岡市では、平成 28 年度の熊本地震の教訓を踏まえ、毎年9月1日から9月7日までの間を「備蓄促進ウィーク」と定め、家庭や企業での備蓄を促進し、防災意識の向上を図る取り組みを行っています。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 知っていた 18.0 | |
| 2 知らなかった 81.1 | 無回答 0.9 |

問9 あなたのご家庭では、災害に備えた備蓄をしていますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。(ローリングストック*を含む)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------|
| 1 備蓄をしている 43.8 | ⇒ 問 10、11 へ | |
| 2 備蓄をしていない 55.3 | ⇒ 問 12 へ | 無回答 0.9 |

※ ローリングストック

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

問 10 《 問9で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたのご家庭では、災害に備えてどのような物を備蓄していますか。あてはまるものを**すべて**選んでください。[n=758]

- | | | |
|-------------------------------|------|---------|
| 1 食料（レトルトご飯、パン、缶詰、栄養補助食品など） | 78.5 | |
| 2 水（飲料水、調理用など） | 82.3 | |
| 3 医薬品 | 42.9 | |
| 4 衛生用品（マスク、ティッシュ、トイレットペーパーなど） | 75.2 | |
| 5 非常用トイレ・携帯トイレ | 36.8 | |
| 6 懐中電灯 | 85.2 | |
| 7 カセットコンロ | 54.2 | |
| 8 ラジオ | 54.4 | |
| 9 発電機、蓄電器（バッテリー） | 20.7 | |
| 10 その他 | 3.8 | 無回答 0.5 |

問 11 《 問9で「1」と回答した方におたずねします。 》

備蓄は何日分していますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。[n=758]

- | | | |
|--------|------|---------|
| 1 1日分 | 14.9 | |
| 2 2日分 | 26.0 | |
| 3 3日分 | 37.3 | |
| 4 4日以上 | 18.3 | 無回答 3.4 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 12 あなたのご家庭では、災害に対して、備蓄以外にどのような備えをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | | |
|----|----------------------------|------|---------|
| 1 | 連絡方法の確認（災害用伝言サービスなど） | 19.7 | |
| 2 | 避難場所・避難ルートの確認 | 39.0 | |
| 3 | 災害情報入手方法の確認（スマートフォン、ラジオなど） | 34.9 | |
| 4 | 預金通帳、現金その他の貴重品の持ち出し準備 | 27.2 | |
| 5 | はしごやロープなどの避難用具の場所の確認 | 9.4 | |
| 6 | 消火器などの消火設備の確認 | 20.0 | |
| 7 | 家具や備品の固定、整理 | 18.3 | |
| 8 | ガラスが割れても飛び散らない対策 | 10.3 | |
| 9 | バケツや風呂などでの水の溜め置き | 18.2 | |
| 10 | 地震保険や損害賠償保険に加入 | 42.5 | |
| 11 | その他 | 0.8 | |
| 12 | 特に備えをしていない | 17.3 | 無回答 2.0 |

問 13 もし災害が起き、避難が必要となった場合、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | | |
|---|------------------|------|---------|
| 1 | 指定避難所（公民館、小学校など） | 72.7 | |
| 2 | 自宅（在宅避難） | 60.5 | |
| 3 | 車内（車中泊避難） | 20.2 | |
| 4 | 親族宅 | 22.0 | |
| 5 | 知人・友人宅 | 4.5 | |
| 6 | ホテル・旅館などの宿泊施設 | 12.7 | |
| 7 | その他 | 2.4 | 無回答 0.8 |

問 14 福岡市では、災害時の避難支援などを目的に、一定要件に該当する障がい者などを対象として、ご自身の情報を地域へ提供することに同意した人を登載した「避難行動要支援者名簿」を作成しています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- | | | | |
|---|--------|------|---------|
| 1 | 知っていた | 11.2 | |
| 2 | 知らなかった | 88.0 | 無回答 0.8 |

問 15 あなたのお住まいは、大雨や台風などの災害リスク（土砂災害、洪水、高潮）がありますか。
あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

1	ある	25.8	
2	ない	47.7	
3	わからない	26.1	無回答 0.4

問 16 福岡市では、わが家の防災行動計画として「マイ・タイムライン」の作成を推奨しています。
「マイ・タイムライン」とは、大雨や台風などの災害からあなたと家族を守るために、「いつ」「誰が」「何を」するかをあらかじめ時系列で決めておくものです。
あなたは、「マイ・タイムライン」のことを知っていましたか。また、ご家庭で「マイ・タイムライン」を作成していますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

1	知っており、作成もしている	0.6	⇒ 問18へ
2	知っていたが、作成はしていない	12.5	⇒ 問17へ
3	知らなかった	86.4	⇒ 問18へ
			無回答 0.5

【参考】福岡市のマイ・タイムライン作成シート

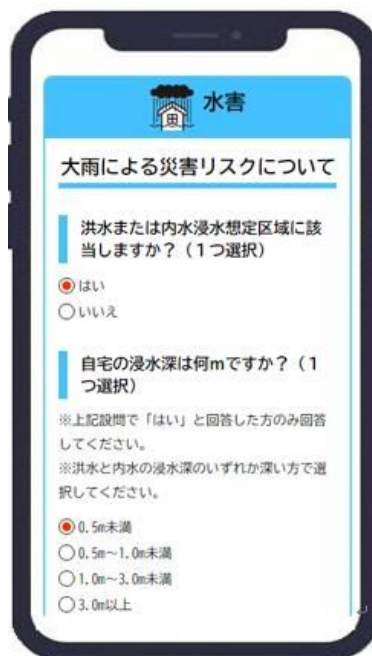
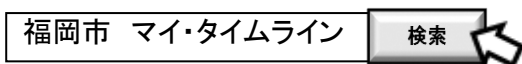
マイ・タイムラインの作成シートは、市ホームページからダウンロードできます。また、情報プラザや地域防災課、各区役所情報コーナー、各区総務課、入部・西部出張所で配布しています。

問 17 《 問 16 で「2」と回答した方におたずねします。 》

「マイ・タイムライン」を作成していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。[n=216]

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 作成の仕方がわからない 24.1 | |
| 2 自宅がハザードエリアにない 18.1 | |
| 3 ハザードマップの見方が分からない 4.2 | |
| 4 作成する時間がない 16.2 | |
| 5 話し合いのみでよいと感じる 25.9 | |
| 6 役に立たないと思う 4.2 | |
| 7 その他 6.9 | |
| 8 特に理由はない 22.7 | 無回答 1.9 |

※PC・スマートフォンから簡単に作成できます



《 すべての方におたずねします。 》

問 18 もし災害が発生したら、あなたは必要な情報を何から入手しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | | |
|----|----------------------------------|------|---------|
| 1 | テレビ | 86.4 | |
| 2 | ラジオ | 49.2 | |
| 3 | 新聞（号外を含む） | 20.4 | |
| 4 | インターネットのホームページ（「福岡市防災・危機管理情報」など） | 63.6 | |
| 5 | メール（福岡市防災メールなど） | 49.6 | |
| 6 | 携帯電話会社の災害用掲示板、伝言ダイヤルなど | 33.1 | |
| 7 | 防災に関するアプリケーション | 13.1 | |
| 8 | SNS（フェイスブック、ツイッター、ラインなど） | 37.1 | |
| 9 | デジタルサイネージ（街頭の電光掲示板など） | 2.6 | |
| 10 | 家族、友人、知人 | 53.6 | |
| 11 | 職場・仕事関係の人 | 23.5 | |
| 12 | 自治会・町内会、自主防災組織、近所の人 | 22.4 | |
| 13 | 消防団 | 2.6 | |
| 14 | その他 | 0.2 | 無回答 0.5 |

問 19 あなたは、行政が行う防災対策として、特に力を入れていくべきことは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | | |
|----|--------------------------------|------|---------|
| 1 | 電気、ガス、水道、電話などのライフライン施設の耐震性の向上 | 82.8 | |
| 2 | 水・食料などの備蓄 | 68.4 | |
| 3 | 災害時における情報伝達体制の充実 | 52.6 | |
| 4 | 災害時に支援が必要な人（高齢者、障がい者など）への施策の充実 | 47.8 | |
| 5 | 人が多く集まる場所での避難対策（帰宅困難者対策など） | 40.5 | |
| 6 | 市民・企業への防災啓発 | 16.7 | |
| 7 | 学校での防災教育 | 26.6 | |
| 8 | 支援物資の円滑な配給体制 | 53.2 | |
| 9 | 防災訓練の充実 | 16.4 | |
| 10 | 自主防災組織の活動の充実 | 10.3 | |
| 11 | 地域の防災リーダーの育成・活用 | 14.0 | |
| 12 | 住宅耐震化の補助 | 30.8 | |
| 13 | 公共施設の耐震化 | 31.8 | |
| 14 | 浸水対策、河川の整備 | 47.9 | |
| 15 | 津波避難対策の充実 | 19.3 | |
| 16 | 土砂災害対策の充実 | 27.0 | |
| 17 | その他 | 1.5 | 無回答 1.2 |

《 男女共同参画社会についておたずねします 》

問 20 あなたは、下表の(1)～(7)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)～(7)のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを**1つずつ**選んでください。

	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇されている	平等	どちらかといえば 女性が優遇されている	女性の方が 優遇されている	わからない	無回答
(1) 家庭生活	14.2	34.3	33.4	3.6	2.2	9.7	2.6
(2) 職場	19.0	32.9	25.4	3.9	1.1	12.9	4.7
(3) 学校教育の場	3.6	12.0	46.9	2.1	0.9	29.8	4.7
(4) 政治の場	46.5	31.1	7.2	0.8	0.4	11.2	2.8
(5) 法律や制度上	17.5	26.9	27.5	4.4	0.9	18.7	4.1
(6) 社会通念・慣習 ・しきたりなど	32.3	39.7	11.5	2.3	0.4	10.9	2.9
(7) 社会全体で 見た場合	24.7	47.5	12.4	3.2	0.7	8.7	2.8

問 21 一般的に「女性が職業を持つ」ことについて、あなたはどのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを**1つだけ**選んでください。

1 ずっと職業を持っている方がよい 52.9	} ⇒ 問 22 へ
2 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がよい 2.0	
3 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい 2.4	
4 子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい 33.5	
5 女性は職業を持たない方がよい 0.2	} ⇒ 問 23 へ
6 その他 6.0	
無回答 3.0	

問 22 《 問 21 で「1～4」と回答した方におたずねします。 》

女性が職業を持っている方が良い理由は何だと思えますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。[n=1,570]

- | | | | |
|----|----------------------|------|----------|
| 1 | 自分や家族の生活のため | 57.1 | |
| 2 | 経済的に自立するため | 45.2 | |
| 3 | スキル（能力）やキャリアを高めるため | 18.5 | |
| 4 | 生活の充実感を高めるため | 32.4 | |
| 5 | 交流・人間関係を広めるため | 19.0 | |
| 6 | 社会とのつながりを持つため | 35.9 | |
| 7 | 心身の健康を保つため | 14.9 | |
| 8 | 仕事を通じて社会に貢献するため | 11.7 | |
| 9 | 多様な次世代の人材を育てるため | 3.6 | |
| 10 | これからの社会には多様性が求められるため | 9.4 | |
| 11 | その他 | 1.1 | |
| 12 | わからない | 0.3 | 無回答 11.6 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 23 あなたは現在、職業を持っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- | | | | | |
|---|--------|------|----------|---------|
| 1 | 持っている | 58.3 | ⇒ 問 24 へ | |
| 2 | 持っていない | 39.6 | ⇒ 問 25 へ | 無回答 2.1 |

問 24 《 問 23 で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ不当に差別されていると思うことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。[n=1,009]

- | | | | |
|----|--------------------------------|------|---------|
| 1 | 賃金に差別がある | 15.2 | |
| 2 | 昇進、昇格に差別がある | 17.9 | |
| 3 | 能力を正当に評価しない | 12.8 | |
| 4 | 補助的な仕事しかやらせてもらえない | 4.6 | |
| 5 | 女性を管理職に登用しない | 8.8 | |
| 6 | 結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある | 14.0 | |
| 7 | 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある | 6.8 | |
| 8 | 教育・研修を受ける機会が少ない | 5.0 | |
| 9 | その他 | 4.3 | |
| 10 | 不当に差別されているとは思わない | 46.5 | |
| 11 | わからない | 11.3 | 無回答 1.8 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 25 育児を行うために、法律に基づき育児休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか。あてはまるものを **1つだけ**選んでください。

- 1 男性も育児休業・子の看護休暇を積極的に取るべきである 36.0
- 2 男性も育児休業・子の看護休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う 51.0
- 3 男性が育児休業・子の看護休暇を取る必要はない 2.4
- 4 その他 3.2
- 5 わからない 5.4 無回答 2.0

問 26 家族の介護を行うために、法律に基づき介護休業を取得できる制度があります。あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか。あてはまるものを **1つだけ**選んでください。

- 1 男性も介護休業を積極的に取るべきである 45.0
- 2 男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う 45.9
- 3 男性が介護休業を取る必要はない 1.0
- 4 その他 2.0
- 5 わからない 4.2 無回答 1.9

問 27 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動などを担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを **すべて**選んでください。

- 1 男性が家事・子育てなどを担うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 65.5
- 2 男性が家事・子育てなどを担うことに対する女性の抵抗感をなくすこと 22.6
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること 65.3
- 4 年長者や周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること 39.8
- 5 社会の中で、男性が家事・子育てなどを担うことに対する評価を高めること 45.7
- 6 労働時間短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 47.9
- 7 男性の家事・子育てなどを積極的に担うことについて、啓発や情報提供を行うこと 27.3
- 8 研修や講習会などにより、男性の家事・育児・介護の技能を高めること 21.2
- 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること 18.3
- 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること 25.2
- 11 その他 4.7
- 12 特に必要なことはない 2.1 無回答 1.9

問 28 あなたの現在の配偶関係（事実婚を含む）はどれに該当しますか。あてはまるものを 1つだけ 選んでください。

1 未婚	20.7	} ⇒ 問 29 へ
2 配偶者（パートナー）がいて、共働きである	30.1	
3 配偶者（パートナー）がいて、共働きでない	31.3	
4 配偶者（パートナー）と離婚した	6.4	} ⇒ 問 30 へ
5 配偶者（パートナー）と死別した	7.8	
		無回答 3.8

問 29 《 問 28 で「2」「3」と回答した方におたずねします。 》

あなたの家庭では次の事柄を、主にどなたが行っていますか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを 1つずつ 選んでください。[n=1,061]

	主に自分	自分と配偶者（パートナー）が同じくらい	主に配偶者（パートナー）	主に配偶者（パートナー）以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
(1) 炊事、掃除、洗濯などの家事	46.4	18.7	32.4	0.6	0.0	1.4	0.6
(2) 育児や子どものしつけ	27.8	19.4	17.1	0.2	0.0	32.0	3.5
(3) 子どもの教育方針や進学目標を決める	15.7	38.8	9.2	0.2	0.1	32.4	3.5
(4) 家計支出の管理	42.2	23.4	31.8	0.1	0.0	1.5	1.0
(5) 高額な商品や土地、家屋の購入	19.4	46.0	22.1	0.4	0.0	10.5	1.7
(6) 将来の生活設計を立てる	19.4	58.1	13.9	0.3	0.1	6.6	1.7
(7) 親や家族の介護	16.0	28.4	8.8	1.1	1.6	41.9	2.2
(8) 町内会、自治会、PTAなどの会合への参加	33.5	18.9	22.0	0.8	0.2	23.2	1.4

《 すべての方におたずねします。 》

問 30 あなたは、子どものしつけや教育について、どのように考えていますか。

次の(1)～(4)までのそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

※子どものいない方は、一般的にどう思うかお答えください

	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対	わからない	無回答
(1)女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる方がよい	77.2	15.7	0.4	0.1	3.1	3.5
(2)男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい	73.3	19.5	0.7	0.3	2.4	3.8
(3)進路は、理系、文系を性別にとらわれることなく選択する方がよい	76.8	12.1	0.6	0.4	5.7	4.3
(4)男女の区別なく、個性（自分らしさ）を尊重して育てる方がよい	75.7	16.2	1.0	0.5	2.7	3.9

問 31 あなたは恋人、配偶者、パートナーから次のような行為をされたことがありますか。次の(1)～(14)までのそれぞれの項目についてあてはまるものを1つだけ選んでください。

	さ何 れ度 たも	さ1 れた た・ 2度	全 く な い	無 回 答
(1)あなたが話しかけても長い間無視する	8.1	17.3	68.2	6.5
(2)あなたを大声で怒鳴る	9.7	18.9	65.3	6.1
(3)あなたに「誰のおかげで生活できるんだ」、「かい性なし」などと言う	4.2	7.4	82.3	6.1
(4)あなたが大切にしている物を捨てたり、壊したりする	2.0	6.5	85.3	6.1
(5)生活費を渡さない	3.0	2.7	87.6	6.6
(6)命の危険を感じるぐらいの暴力を振るう	0.7	1.9	91.0	6.4
(7)命の危険を感じる程ではないが何らかの暴力を振るう	1.7	6.3	85.7	6.2
(8)あなたの意に反して性行為を強要する	2.5	5.5	85.1	6.9
(9)あなたが見たくないのに、ポルノ雑誌・ビデオを見せる	0.3	1.5	91.4	6.8
(10)避妊に協力しない	1.8	4.0	86.8	7.4
(11)中絶を強要する ＜女性のみお答えください＞	0.5	2.8	89.7	7.0
(12)あなたの外出先や携帯電話、メール、郵便物などを細かくチェックする	1.9	4.2	87.1	6.9
(13)あなたが社会活動や仕事をすることをいやがる(させない)	2.0	4.6	86.2	7.1
(14)あなたに借金をさせる	1.0	2.1	89.5	7.4

1つでも「1」「2」と回答した方
⇒ 問 32、問 33 へ

問 32 《 問 31 でひとつでも「1」「2」と回答した方におたずねします。 》

問 31 の行為をされたとき、あなたはどのようにしたいと思われましたか。あてはまるものを**すべて**選んでください。[n=741]

- | | | | |
|----|-----------------------------|------|---------|
| 1 | がまんするしかないと思った | 39.3 | |
| 2 | 誰かに相談したいと思った | 13.5 | |
| 3 | 相手と話し合いたいと思った | 26.9 | |
| 4 | 離婚や別居、交際を解消したいと思った | 27.5 | |
| 5 | 経済的に困らないように仕事を得たいと思った | 16.1 | |
| 6 | 仕事を変えたり、転居するなど生活環境を変えたいと思った | 5.3 | |
| 7 | 人生や生き方について考え直したいと思った | 20.0 | |
| 8 | 特に何も思わなかった | 13.5 | |
| 9 | どのようにしてよいかわからなかった | 9.9 | |
| 10 | その他 | 4.5 | 無回答 7.0 |

問 33 《 問 31 でひとつでも「1」「2」と回答した方におたずねします。 》

問 31 の行為をされたとき、実際には、どのように行動しましたか。あてはまるものを**すべて**選んでください。[n=741]

- | | | | |
|----|--------------------------|------|---------|
| 1 | がまんした | 48.9 | |
| 2 | 身近な人に相談した | 15.7 | |
| 3 | 行政や民間の相談機関に相談した | 2.0 | |
| 4 | 相手と話し合った | 28.9 | |
| 5 | 離婚や別居、交際を解消した | 9.9 | |
| 6 | 経済的に困らないよう、仕事を探した（働き始めた） | 7.4 | |
| 7 | 仕事を変えたり、転居するなど生活環境を変えた | 3.6 | |
| 8 | 人生や生き方について考え直した | 13.8 | |
| 9 | 何もしなかった | 18.2 | |
| 10 | その他 | 4.0 | 無回答 8.0 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 34 あなたは恋人、配偶者、パートナーからの暴力について、相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。あてはまるものを**すべて**選んでください。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 配偶者暴力相談支援センター 16.4 | |
| 2 男女共同参画推進センター・アミカス 18.2 | |
| 3 区役所（保健福祉センター） 30.1 | |
| 4 警察 68.8 | |
| 5 法務局（人権相談） 7.1 | |
| 6 民間団体 5.5 | |
| 7 その他 1.3 | |
| 8 相談できる窓口を知らない 16.5 | 無回答 4.5 |

問 35 あなたは、**過去5年間に**地域における諸団体（自治協議会、自治会・町内会、PTA、子ども育成連合会など）の活動に参加したことがありますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 団体に所属し、活動に参加した 27.9 | |
| 2 団体には所属していないが、活動に参加した 9.1 | |
| 3 参加していない 60.6 | 無回答 2.4 |

問 36 現在福岡市では、地域における諸団体などの長（自治協議会会長、公民館長、PTA 会長など）への女性の就任状況は2割程度となっています。
あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを**2つまで**選んでください。

- | | |
|--------------------------------------------------------------|---------|
| 1 女性は家事や仕事で忙しいから 34.6 | |
| 2 地域のさまざまな意見を調整し、組織をまとめていくことは、女性には向いていないから（男性の方が適しているから） 7.3 | |
| 3 これまでの慣習で、リーダーには、男性が就任してきたから 36.2 | |
| 4 女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから 9.9 | |
| 5 女性は責任のある役を引き受けたがらないから 17.8 | |
| 6 男性中心の組織運営になっているから（役職や仕事分担、活動時間帯など） 27.3 | |
| 7 家族の理解や協力が得られないから 9.4 | |
| 8 その他 2.7 | |
| 9 わからない 10.3 | 無回答 7.0 |

問 37 東日本大震災や熊本地震など、これまでの大規模災害時には女性や子育て家庭ならではの問題や困難が多く生じています。あなたは、これらの問題や困難に備えるために、どのようなことが必要だと思いますか。特にあてはまるものを**2つまで**選んでください。

1	避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性が男性とともに参加できるようにすること	39.1
2	性別や家族構成に応じて備蓄すること	18.0
3	避難所で女性や子どもが安全に過ごすことができるようにすること	54.1
4	防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成すること	9.5
5	日頃から、家族や地域とのコミュニケーションを大切にすること	29.3
6	日頃からの男女平等、男女共同参画意識を高めること	12.3
7	その他	1.0
8	わからない	6.9
	無回答	4.6

問 38 下記の(1)～(10)の言葉や施策について、あなたはどの程度知っていますか。(1)～(10)の**それぞれの項目**についてあてはまるものを**1つつ**選んでください。

	内容を知っている	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
(1) 男女共同参画社会	30.9	45.1	21.0	2.9
(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	33.9	32.1	30.2	3.8
(3) ジェンダー平等	56.4	27.3	13.1	3.2
(4) デートDV	26.4	25.0	44.8	3.8
(5) DV防止法 （配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護などに関する法律）	39.4	43.1	14.3	3.2
(6) 女性活躍推進法 （女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	15.9	43.1	37.7	3.2
(7) 福岡市男女共同参画を推進する条例	8.0	39.2	49.8	3.0
(8) 福岡市男女共同参画基本計画	6.8	36.5	53.4	3.3
(9) みんなで参画ウィーク（福岡市男女共同参画週間）	3.7	26.5	66.4	3.4
(10) 男女共同参画推進センター・アミカス	13.4	37.2	46.4	2.9

問 39 あなたが、今後、男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要と思うことは何ですか。あなたの考えに最も近いものを**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-------------------------------------------------|---------|
| 1 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること 12.3 | |
| 2 女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること 34.3 | |
| 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること 18.0 | |
| 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること 8.6 | |
| 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること 10.3 | |
| 6 その他 2.5 | |
| 7 わからない 7.4 | 無回答 6.7 |

問 40 「男女共同参画社会」とは、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、福岡市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを**5つまで**選んでください。

- | | |
|----------------------------------------------|---------|
| 1 学校や職場、地域などで、男女平等と相互の理解についての学習機会を充実する 41.1 | |
| 2 女性が能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する 27.8 | |
| 3 仕事と家庭や地域活動の両立ができるよう企業に働きかける 51.6 | |
| 4 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する 53.6 | |
| 5 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う 28.7 | |
| 6 保育の施設・サービスを充実し、子育て中でも働き続けられるよう支援する 52.0 | |
| 7 介護の施設・サービスを充実し、介護をしながらでも働き続けられるよう支援する 48.4 | |
| 8 福岡市の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する 21.3 | |
| 9 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する 14.5 | |
| 10 配偶者などに対する暴力根絶のための啓発活動を充実する 5.7 | |
| 11 女性リーダーの養成・研修の場を充実する 15.2 | |
| 12 男女共同参画を推進する民間団体との連携を深める 7.2 | |
| 13 男女共同参画の視点に立った地域防災を推進する 4.6 | |
| 14 その他 1.7 | |
| 15 わからない 6.1 | 無回答 4.4 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 41 女性が生きづらさを感じる理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを**3つ**まで選んでください。

- | | | |
|---|--------------------------------|---------|
| 1 | なにかにつけ「女だから」「女のくせに」と言われる | 20.6 |
| 2 | 結婚や子育てなどで仕事や生き方を自由に選べないことがある | 49.7 |
| 3 | 仕事と育児・家事・介護を両立する負担が大きい | 71.4 |
| 4 | 家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる | 64.5 |
| 5 | 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない | 11.8 |
| 6 | 控えめであることを求められる | 8.8 |
| 7 | その他 | 2.9 |
| 8 | わからない | 6.3 |
| | | 無回答 4.3 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 42 男性が生きづらさを感じる理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを**3つ**まで選んでください。

- | | | |
|---|------------------------------|---------|
| 1 | なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる | 27.8 |
| 2 | 結婚や子育てなどで仕事や生き方を自由に選べないことがある | 12.5 |
| 3 | 仕事と育児・家事・介護を両立する負担が大きい | 17.6 |
| 4 | 家族を養う経済力を求められる | 68.6 |
| 5 | 仕事の責任が重い、仕事を優先することを当然と思われる | 61.8 |
| 6 | 弱音を吐かないことを求められる | 23.7 |
| 7 | その他 | 2.3 |
| 8 | わからない | 9.1 |
| | | 無回答 5.8 |

問 43 男女の生きづらさを解消するために有効な取組みは何だと思えますか。あなたの考えに近いものを**2つ**まで選んでください。

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 人の意識（考え方）を変える | 42.9 |
| 2 | 子どもの頃からの男女平等教育を推進する | 32.9 |
| 3 | 相談やサポート（支援）体制を充実する | 12.9 |
| 4 | 同じ悩みを持つ人と交流する | 4.9 |
| 5 | 女性の経済的自立を推進する | 12.8 |
| 6 | 男女ともに働きやすい職場環境づくりを推進する | 55.4 |
| 7 | その他 | 2.1 |
| 8 | わからない | 5.3 |
| | | 無回答 5.8 |

◀ 最後に、あなたやあなたのご家族のことについておたずねします ▶

問 44 あなたの性別は

1 男性 40.6	2 女性 58.0	無回答 1.4
-----------	-----------	---------

問 45 あなたの年齢は

55.5

歳 (数字をご記入ください)

問 46 あなたの家族数(同居人数)は、あなたを含めて何人ですか。(1つだけ選択)

1 1人 19.1	4 4人 14.3	無回答 1.4
2 2人 36.8	5 5人 5.3	
3 3人 21.2	6 6人以上 2.0	

問 47 家族構成は (1つだけ選択)

1 単身(同居人はいない) 19.2	4 親と子と孫の三世代 4.3	無回答 2.7
2 夫婦のみ 28.0	5 兄弟姉妹のみ 0.8	
3 親と子の二世代 43.1	6 その他 2.0	

問 48 あなたが同居している家族についておたずねします。あなた自身も含めて、あてはまるものをすべて選んでください(単身の方はご自身について選んでください)。

1 未就学児 9.0	6 大学・大学院生 7.3	無回答 3.6
2 小学生 10.5	7 65歳以上75歳未満の人 25.1	
3 中学生 6.4	8 75歳以上の人 23.8	
4 高校生 5.8	9 「1」～「8」以外の人 60.7	
5 専門学校生・短大・高専生 1.2		

問 49 あなたのお住まいの区は(1つだけ選択)

1 東区 20.9	5 城南区 7.9	無回答 1.4
2 博多区 12.9	6 早良区 15.3	
3 中央区 11.7	7 西区 12.8	
4 南区 17.2		

問 50 あなたの職業は（1つだけ選択）

1 正社員・正職員 28.7	7 学生 2.4
2 契約社員・派遣社員・嘱託 6.4	8 無職 22.3
3 パート・アルバイト 14.5	9 その他 2.1
4 会社等役員 2.5	
5 自営業・家族従事者 6.7	
6 専業主婦・専業主夫 12.6	無回答 1.9

問 51 あなたが、日中主に活動している地域（勤務先など）は（1つだけ選択）

1 東区 15.0	5 城南区 6.6
2 博多区 18.7	6 早良区 12.0
3 中央区 16.0	7 西区 9.0
4 南区 11.5	8 市外 6.8
	無回答 4.5

問 52 あなたが福岡市に住んでいる年数は通算で何年になりますか。（1つだけ選択）

1 1年未満 3.6	5 10年以上20年未満 13.8
2 1年以上3年未満 4.7	6 20年以上30年未満 14.7
3 3年以上5年未満 4.3	7 30年以上 51.3
4 5年以上10年未満 6.1	無回答 1.3

問 53 あなたのお住まいは（1つだけ選択）

1 持ち家（一戸建て） 33.1
2 持ち家（マンションなどの集合住宅） 27.5
3 賃貸住宅（一戸建て） 1.7
4 賃貸住宅（アパート、マンションなどの集合住宅） 28.8
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅 5.1
6 社宅・寮 1.5
7 その他 1.2
無回答 1.2

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。

回答漏れがないか再度ご確認の上、**7月12日(水)**までにポストに投函または送信してください。

令和5年度

市政に関する意識調査報告書

令和6年1月発行

発行 福岡市市長室広聴課

福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092) 711-4067

FAX (092) 733-5580

E-mail: kocho.MO@city.fukuoka.lg.jp